

ていまたう
汀間当節
(三下げ)

ていま あぶざけ はま う
1 . 汀間とう安部境ぬかぬしちゃぬ浜下りてい

ていま まるみかな うきにんかみや くい はなし
汀間ぬ丸目加那とう請人神谷とう恋ぬ話

まくとう
サーぶんぬかなーひゃー真実かや

かみや いくとうば ぬん いゆ あ
2 . 神谷が云言葉や何でい言たが明きてい

し ぐるくぐわち ちゆ ちとう ま
四五月 いわすいが来んどー勤みてい待っちよれ

まるみかな
サーでいかちゃんやーひゃー丸目加那

ついち いえだ うむ さた
3 . 月ぬある間や思いんしゅんどー 沙汰んしゅんどー

ついち いりさ うむ さた
月ぬ西下がれサ思いんさんどー 沙汰んさんどー

ゆ わうでいまくら
サー寄ていくうかんくう 我腕枕

わすいま にせた
4 . すがていやらちやる我島二才達とうかく

なまじぶん すい ぬぶ わ さた
今時分サ首里登とーてい我沙汰すらどー

ゆ むどう
サーやらちやすいが呼び戻せ

舞踊「汀間当」の一節

村の娘と赴任してきた役人の恋を好奇心いっぱい村人たちがはやしてたてます。

汀間村と安部境の川の下
の浜に下りて
汀間村の丸目加那と請人の神谷が
恋におちているという話だよ。
おどろいたね、本当かね。

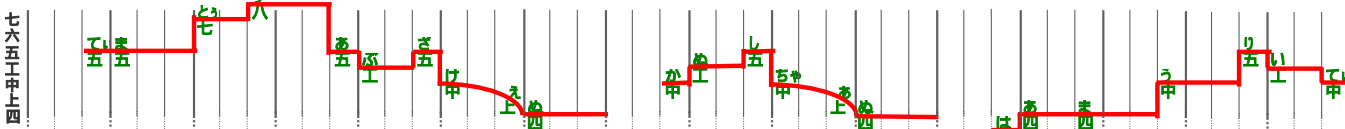
神谷はこう言ったそうだよ。
年が明けて四月か五月か六月頃
におまえを迎えに来るから
おとなしく待っているんだよと。
でかしたね、丸目加那。

月が出ている間は
人の噂にもなるけれど、
月が西に傾いてしまえば
噂をする人もいない。
さあ、寄っただいで、私の腕枕に。

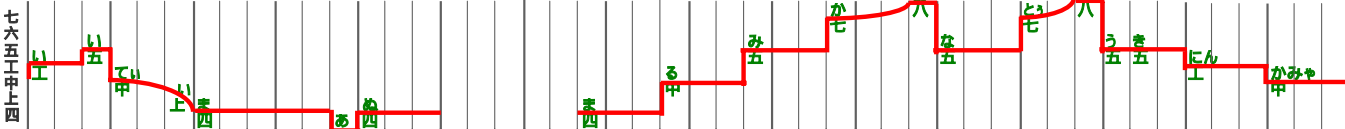
使いに出した着飾った村の若者達は
今ごろは首里にあがって
私のことを伝えているでしょう。
そうはさせるか、呼び戻せ。

中 七中 工五 七五 中工 五中 七五 七工 中四 五

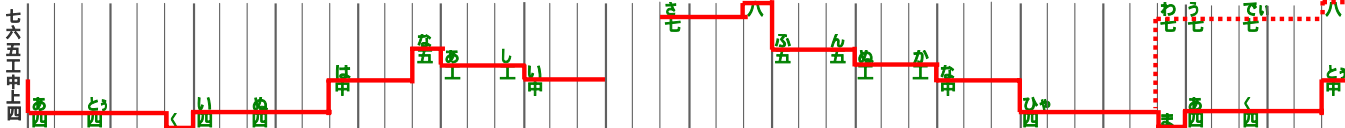
四 中五 中七 中五 中工 五中 七四 五四 中工 五中 七四 五四 七四 五四 七中 五工 中
 1番 ていま とぅ あぶ ざけ えぬ かぬ しちゃあぬ はあま う りい てい
 3番 ついち ぬ う ある いえだ あや うむい んしゅんど さた ん しゅ んど お



工 五中 七四 五四 七四 五四 七四 五四 七四 中五 中七 中五 中七 中五 中工 五中 七
 い いてい いま あぬ む り み が あな とぅ うき にん かみゃ
 お おつい いち いぬ まい り さ が あれ さ あうむ いん さん



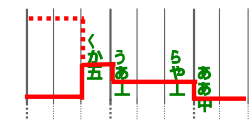
四 五四 七四 五四 七中 五工 五中 七四 中七 中五 中工 五中 七四 五四 七四 五四 七
 あ とぅ く い ぬ は なあ しい さ あふ んぬ かな ひゃ まあ く とぅ
 ど さた ん さ んん どお さ あゆ ていく うかん く わう でい ま



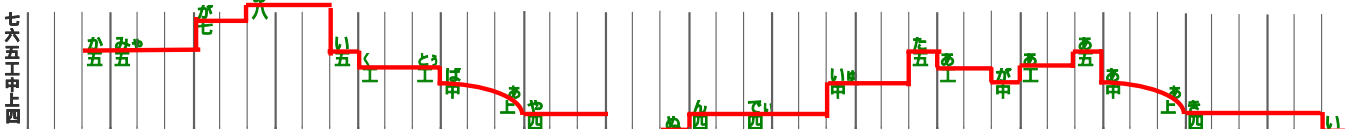
中 五工 五中 七中 工五 七五 中工 五中 七五 七工 中四 五

かあ やあ
くう らあ

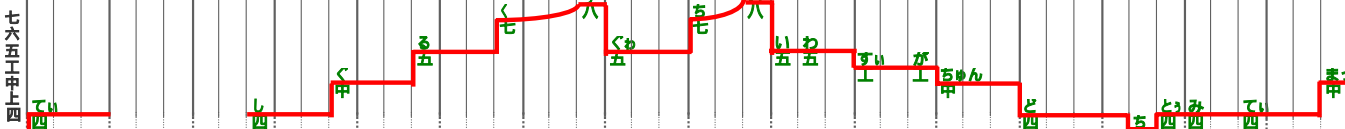
- 1. 汀間とぅ安部境ぬかぬしちゃぬ浜下りてい
汀間ぬ丸目加那とぅ讀人神谷とぅ恋ぬ話
サーふんぬかぬ一ひゃー真実かや
- 3. 月ぬある間や思いんしゅんどー 沙汰んしゅんどー
月ぬ西下がれサ思いんさんどー 沙汰んさんどー
サー寄ていくうかんくう 我腕枕



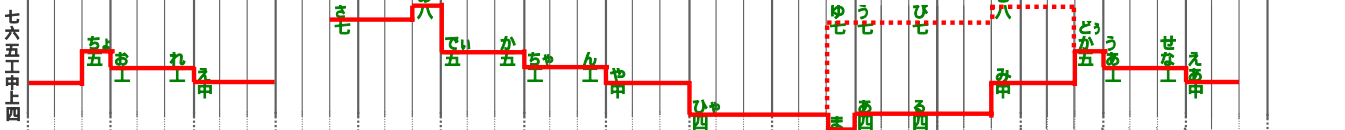
四 中五 中七 中五 中工 五中 七四 五四 七四 五四 七中 五工 中工 五中 七四 五四 七
 2番 かみゃ が あ いく とぅば あや ぬん でい いゆ たあ があ ああ あき い
 4番 すが てい い やら ちゃ ある わし ま に せえ たあ あとぅ うか あ



四 五四 七四 五四 七四 中五 中七 中五 中七 中五 中工 五中 七四 五四 七四 五四 七
 てい し く る く うぐわ ち しいわ すいがちゅん ど ちとぅみ てい まつ
 く な ま じ ぶ うん さ あすい ぬぶと てい わさ た す



中 五工 五中 七四 中七 中五 中工 五中 七四 五四 七四 五四 七中 五工 五中 七
 ちよお れえ さ あでい かちゃんや ひゃ まあ る み かあ なあ
 らあ どお さ あや あら ちゃし が ゆう び む どう せえ



中 工五 七五 中工 五中 七五 七工 中四 五

3番へ

- 2. 神谷が云言葉や何でい言たが明きてい
四五六月 いわすいが来んどー 動みてい待ちよれ
サーでいかちゃんや一ひゃー丸目加那
- 4. すがていやらちるる我鳥二才違とぅかく
今時分サ首里登とーてい我沙汰すらどー
サーやらちやすいが呼び戻せ